

台風の上陸

初夏から秋にかけて、日本ではたびたび台風が上陸する。ひとたび日本列島に台風が上陸すると、大雨、暴風、高波、洪水などで、大きな被害が出ることも少なくない。

日本の南に接近する台風は、日本の南の海上で発生し、沖縄を通過して、九州や四国、本州に近づくことが多い。沖縄は台風の通り道になるのだが、台風が沖縄に「上陸」することはない。それは、台風が沖縄の上を通ることがないというわけではなく、「台風が上陸する」と言う場合の「上陸」は、台風が中心が北海道、本州、四国、九州の海岸に到達して、陸上を進んだときのことを言からである。「上陸」は、気象上の特別な意味をもった言葉なのである。

この規則からいうと、滋賀県や山梨県、長野県、群馬県、埼玉県、栃木県、岐阜県、奈良県に「台風が上陸する」ことはない。その理由を改めて説明する必要はないだろう。

(360字)

(2021.10 Written by Toru YOSHIKAWA)

<参考資料>

- ・2022年10月7日付け朝日新聞朝刊p2. 「いちからわかる！ 台風の上陸何月ごろまでのなの？」



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.